

司法試験シンポジウム

～司法試験の出題の在り方等の改善に向けて～

日本弁護士連合会では、新司法試験の開始以来、司法試験の出題内容から運営方法まで、その時々的重要課題を取り上げて「司法試験シンポジウム」を実施しています。

司法試験の出題、採点に関しては、司法試験考査委員の中から選任された検証担当考査委員による検証作業が行われる体制が敷かれていますが、出題の仕方の工夫といった技術的問題にとどまらず、より適切な選抜機能を果たすにはどうすべきかが問われています。また、2019年には、法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律の改正が行われ、在学中受験を前提とした場合に、司法試験の内容や試験方法、採点等についても、これまで以上に法科大学院のカリキュラムを踏まえたものとするのが求められています。

こうした流れを踏まえて、司法試験の論文式試験のあるべき方向についての議論を行う予定です。
奮ってご参加ください。

■日 時■ 2021年12月4日(土) 午後1時～午後5時

申込期限
11/24(水)

■方 法■ ZOOM を利用したオンライン開催 要：事前申込み

申込みURL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/21shsympo/ss2021/>



◆プログラム(予定)◆

(1) 報告

- ① 今年度の短答式試験及び論文式試験の経年分析
- ② 法科大学院協会による今年度司法試験についてアンケート調査結果
報告者 堀田 周吾 東京都立大学教授・法科大学院協会司法試験等検討委員会主任
- ③ 憲法・刑法の2021年論文式試験問題を基にした改作を含めたモニター検証の趣旨と結果分析
報告者 亀井 尚也 日弁連法科大学院センター副委員長・弁護士(兵庫県弁護士会)

(2) パネルディスカッション

「司法試験論文式試験の出題の在り方、内容、試験方法、採点について」

パネリスト 松本 和彦 大阪大学大学院高等司法研究科教授
南 由介 日本大学法学部教授
仲世古 善樹 弁護士(札幌弁護士会)

コーディネーター 谷井 智 日弁連法科大学院センター副委員長・弁護士(広島弁護士会)

※御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本シンポジウムに関する事務連絡のみに使用し、イベント終了後廃棄いたします。